

「のるーと名寄」実証運行のお知らせ

コミュニティバスが令和7年12月31日に廃止されるに伴い、実証運行を令和8年1月5日以降から順次実施します。（～令和8年5月30日まで）



❗ 実証運行により変更になる事項を赤字、下線で記載

運行日時の拡大

令和8年1月5日(月)～



平日 7時～18時 / 土曜 9時～13時00分 / 日祝休業

乗降場所の移設、新設

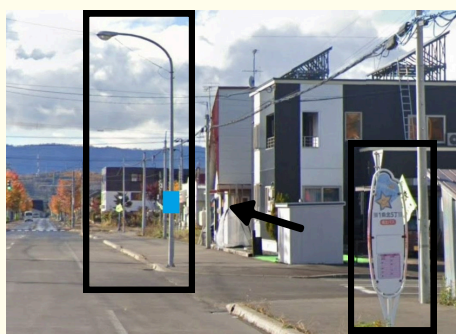
令和8年1月6日(火)～

4か所の新設

コミュニティバス停留所と併用していた45か所を含む移設

➡ 近くの街路灯や他路線バス停留所、建物、コンビニへ

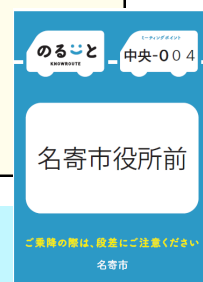
📍 中央-007 東1条北5丁目
街路灯に移設



📍 中央-038 ローソン名寄北インター店前
産業高校前の停留所からコンビニに移設



目印はコレ
(青色A4サイズ)



予約可能日の拡大

7日前 から予約受付

<予約方法> LINE・アプリは24時間受付可能

電話予約は平日 9時～17時 / 土曜 9時～12時30分 (日祝休業)

1/10(土)
開始

乗降場所一覧や新しいリーフレット、詳細は
市ホームページに掲載、市内公共施設に設置しています



✓ のるーとがおトクに乗れるキャンペーンは、裏面を確認

お得に「のるーと名寄」 に乗車しよう

のるーと
KNOWROUTE

1

Yorocaポイント限定共通バスチケット（回数券）

150円券

×12枚が**1,500円**で購入できる

300円分
おトク

- ✓ 対象路線 **のるーと名寄** / イオンバス / 日進ピヤシリ線
- ✓ 有効期限 令和8年1月5日(月)～5月30日(土)
- ✓ 販売期間 令和7年12月22日(月)～令和8年5月30日(土)
- ✓ 販売場所 名寄商工会議所
名寄交通本部 / 三浦ハイヤー本部

詳細はこちら



2

のるーと運賃をYoroca支払いで**20%オフ**

運賃	通常運賃 (現金払い)	Yoroca支払い
大人	300円	240円
小学生	200円	160円
障がい者	100円	80円

手続き
ナシ

- ✓ 実施期間 令和8年1月5日(月)～5月30日(土)
乗車時にYorocaカードまたは
アプリで支払いするだけ

詳細はこちら



【問い合わせ】

名寄市総合政策室地域課題担当 TEL 01654-3-2111(内線3339)
名寄市大通南1丁目1番地

名寄市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

名寄市では近年、人口の減少や自家用車の普及により、路線バスの利用者が低迷し、効率的な方法による公共交通の運行が必要となっており、学生や高齢者などのクルマを所有していない市民が「買い物」や「通院」等の移動に困らない交通システムの確保が求められている。

当該デマンド交通の運行地域は、住居が低密度に広く分散し路線バスの利用がしづらい交通空白地帯である。日常生活に不可欠な地域の交通手段の確保とともに、当市に所在するJR名寄駅、風連駅と居住地域を結節し交通のネットワークを形成する目的で導入しているものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

名寄市郊外部においては、定時定路線型の路線バスでは、非効率な運行となり、また、交通サービスレベルが低下すると考えられる。さらに高齢者は、バス停留所までの移動距離に対して負担を感じており、デマンド型交通の導入によって、交通空白地帯を解消するとともに、「買い物」や「通院」等の日常生活に必要不可欠な「地域の交通手段」を確保する。

【具体的目標】

デマンド型交通(下多寄線)の利用者数の向上 → 目標200人／月

デマンド型交通(御料線)の利用者数の向上 → 目標200人／月

デマンド型交通(下多寄線)の利用者満足度の向上 → 目標100%

デマンド型交通(御料線)の利用者満足度の向上 → 目標100%

令和7年度事業概要

下多寄線(西風連～風連駅～名寄駅)

運行回数 往路4回・復路5回

御料線(風連日進～風連町内～道の駅)

運行回数 往路5回・復路5回

【下多寄線】

	風連 2区	下多寄 3区	下多寄 4区	下多寄 5区	風連 豊里	西風連	共和	豊栄
風連地区まで	300円	300円	300円	300円	300円	400円	400円	500円
名寄地区まで	600円	700円	700円	600円	500円	800円	400円	300円

【御料線】

●デマンドバス料金表

	日進・東生	旭	中央	緑町
対象エリア内の移動	200円 (高校生以下:100円)	200円 (高校生以下:100円)	200円 (高校生以下:100円)	200円 (高校生以下:100円)
風連市街地までの移動	400円 (高校生以下:200円)	300円 (高校生以下:150円)	250円 (高校生以下:130円)	200円 (高校生以下:100円)

地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(名寄、風連、名寄高校、日進、智恵文、智北)
- ・名士バス(株)(市内5路線、郊外5路線)
- ・道北バス(株)(1路線)
- ・士別軌道(株)(1路線)
- ・ジェイ・アール北海道バス(株)(郊外1路線)
- ・北海道中央バス(株)(都市間バス1路線、共同運行)
- ・スクールバス(7路線)
- ・宗谷バス(都市間バス1路線)

協議会開催状況

- 令和7年6月17日(令和7年度第1回)
名寄市地域公共交通計画別紙(フィーダー系統)策定について 他
- 令和7年8月29日(令和7年第2回)
中多寄線運賃改定について／アンケートの調査結果について 他
- 令和7年10月15日(令和7年第3回)
のるーと名寄の21条許可申請の延長について／コミュニティバス
廃止時期について／のるーと名寄の運行体制変更について 他
- 令和7年10月30日～11月5日(令和7年第4回)
コミュニティバス廃止時期及びのるーと名寄の運行体制変更につ
いて
- 令和7年11月12日(令和7年第5回)
のるーと名寄の実証運行について 他
- 令和7年12月23日～令和8年1月8日(令和7年第6回)
地域内フィーダー系統の事業評価について

資料2

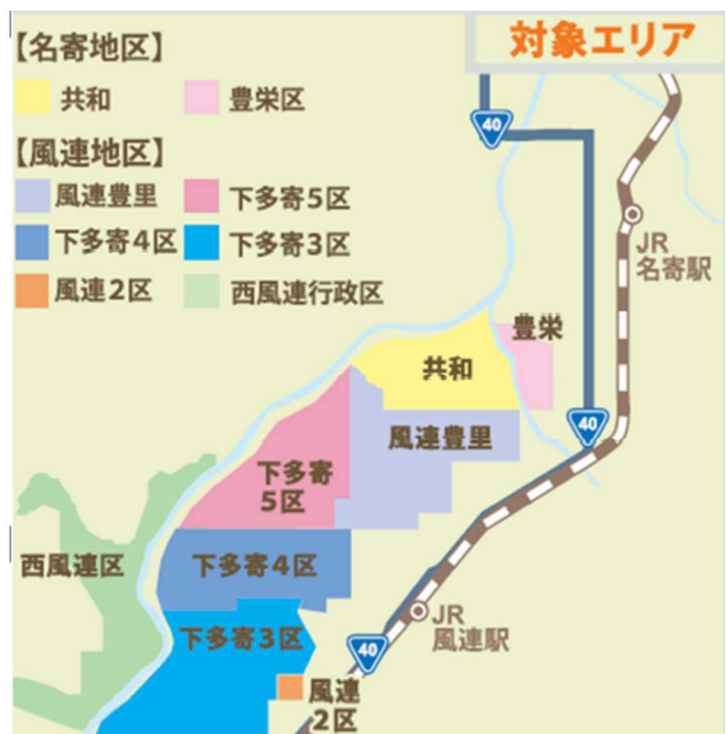
令和7年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

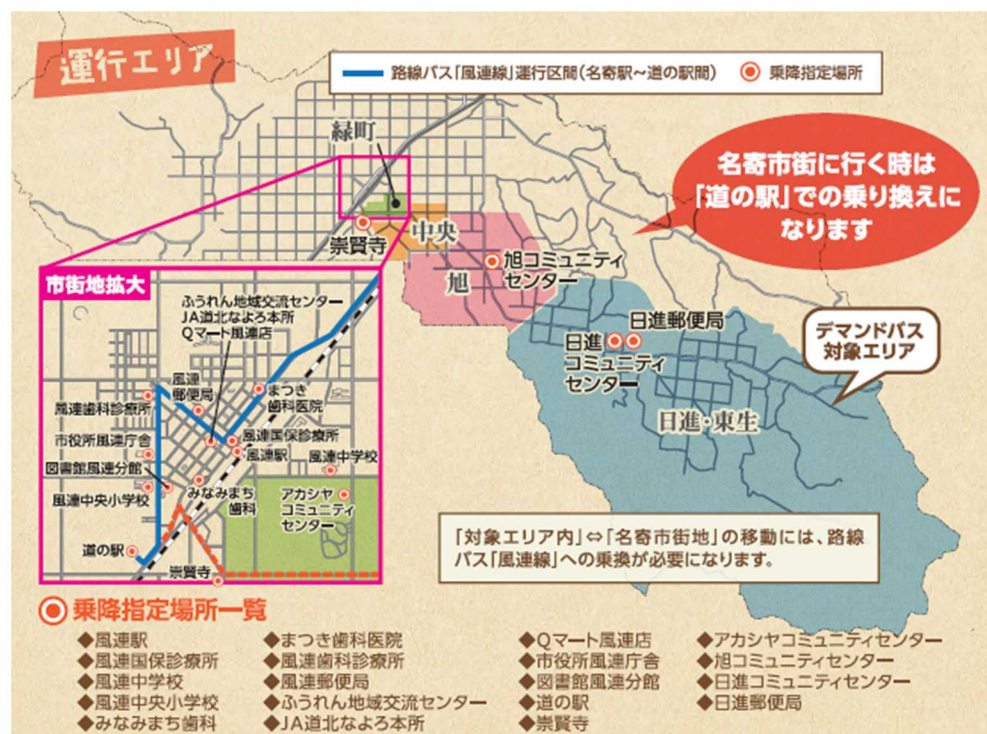
- ・デマンド型交通については、利用者になじみのない予約型の運行システムのため、PRチラシやホームページでの周知を継続して実施している。
- ・地域住民の会合等で、公共交通全般に関する利用促進、周知啓発活動を実施している。
- ・乗降指定場所の見直しのため、アンケート調査を実施している。

2) 運行系統

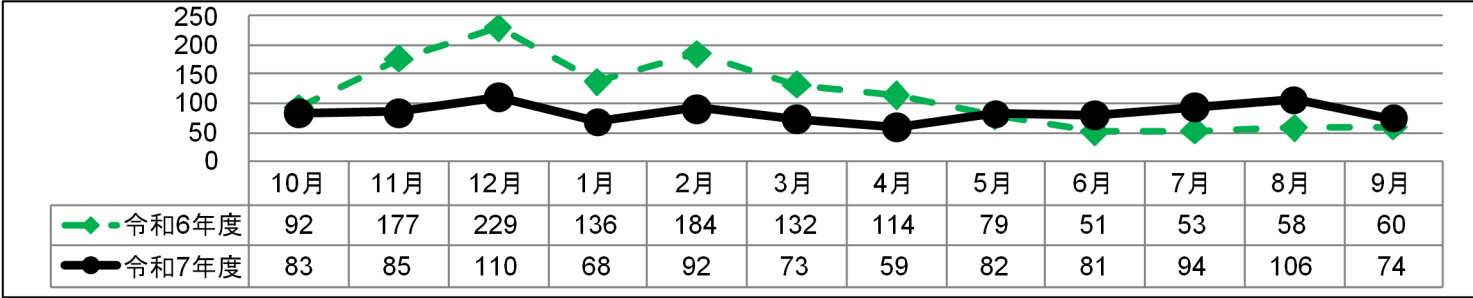
【下多寄線】



【御料線】

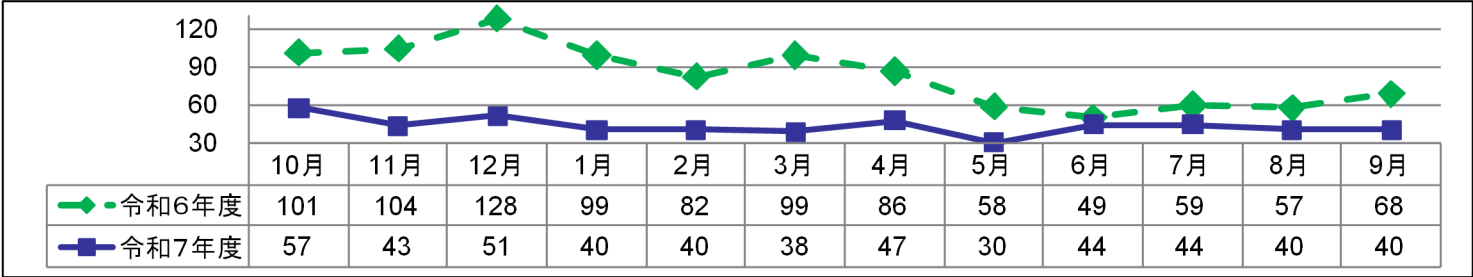


3) 利用実績



【下多寄線】

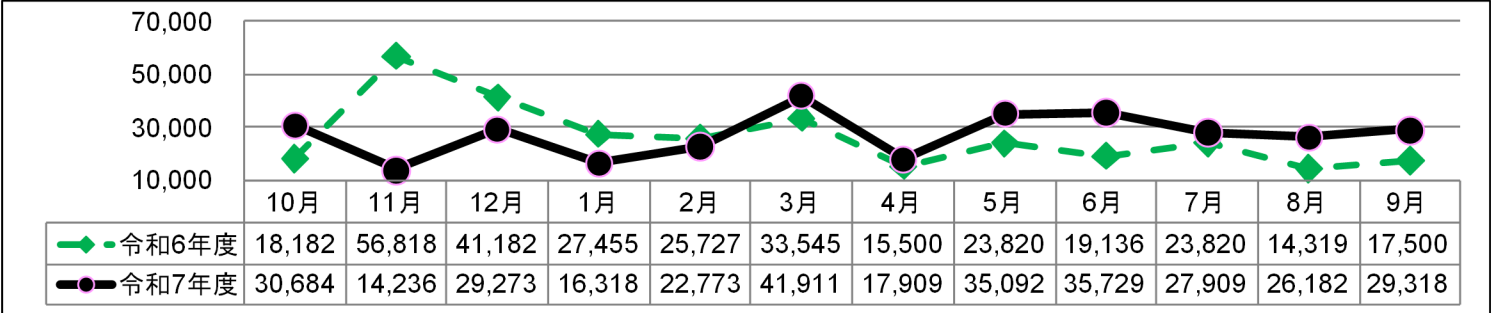
合計	内訳 (一般)	内訳 (学生)
1,365	1,020	345
1,007	798	209



【御料線】

合計	内訳 (一般)	内訳 (学生)
990	990	0
514	514	0

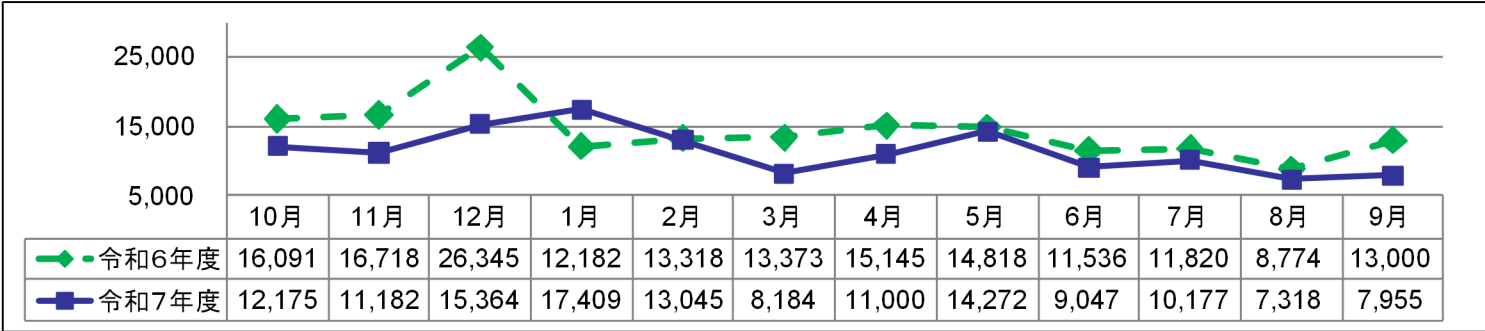
4) 収入実績



【下多寄線】

合計
316,866
327,334

【御料線】



合計
173,120
137,128

5)事業実施の適切性

事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

6)目標・効果達成状況

- ・デマンド型交通の利用者数の向上
 - 下多寄線
 - 月平均利用者数 目標200人／月 → 実績84人／月
 - 対象地域からの転出や自然減等による利用対象者減となり、目標値▲116人／月であった。
 - 御料線
 - 月平均利用者数 目標200人／月 → 実績43人／月
 - 対象地域からの転出や自然減等による利用対象者減となり、目標値▲157人／月であった。
- ・デマンド型交通の利用者満足度の向上
 - 下多寄線
 - 目標 100% → 100%
 - 御料線
 - 目標 100% → 100%
 - 令和7年4月～5月実施のアンケート調査において、下多寄線及び御料線の満足度が昨年に引き続き100%となった。
- ・効果
 - 下多寄線
 - 冬期間のみならず、通年(264日稼働)の利用があり、住民への公共交通手段の提供が適切に行われた。
 - 御料線
 - 定期利用者の減少などにより、月半分程度の利用日数に留まる結果となった。(186日稼働)

7)事業の今後の改善点

【下多寄線】【御料線】
運行開始から14年(下多寄線)、7年(御料線)を経過し地域への定着は着実に進んでいる。しかし、対象地域からの転出や自然減等による利用対象者減少により、利用者数が伸び悩む結果となった。新規利用者拡大のため、周知活動は引き続き実施するが、これまでの利用実績や地域の声を把握しながら、便数の見直しや運行経路など路線の最適化を検討する必要がある。

8)地方運輸局等における二次評価結果(案)

運輸局記載欄